

マラウイ月報(2014年8月)

主な出来事

【内政】

- 国会公職任命委員会が初代資産公開局長を任命
- ムタリカ大統領、北部ムジンバに大学新設を約束

【外政】

- ムタリカ大統領、米・アフリカ・リーダーズ・サミット参加
- ムタリカ大統領、第34回SADC首脳会合参加

【経済】

- 今年の葉タバコ生産量は過剰供給のため、平均取引価格が下落
- アフリカ開発銀行とマラウイ政府は、ナカラ回廊整備計画フェーズ4等を含む1億400万米ドルの支援実施の合意に署名。

【内政】

・ 初代資産公開局長の任命

8月19日、マラウイ国会公職任命委員会は初代資産公開局長に法律家のトゥクラ氏を任命した。マラウイ政府は2013年に資産公開法を制定し、大統領等に対し資産公開局長への資産情報の提出を義務づけたが、提出先の資産公開局長を任命されなかったため、資産公開が行われていなかった。同法は大統領等特定の公職についた者は着任後3ヶ月以内に資産公開局長へ資産情報を提出するよう定めており、ムタリカ大統領着任後3ヶ月の期限が目前となり、資産公開局長が任命された。(8月21日、デイリータイムズ紙1, 3面)

・ マラウイ選挙委員会、補欠選挙日程を決定

8月19日、マラウイ選挙委員会(MEC)は、今年5月20日の総選挙の補欠選挙を10月7日に実施する旨発表した。補欠選挙が実施されるのは国会議員が2選挙区、地方議会議員が5選挙区であり、ムタリカ大統領が選出され大統領職に就いたため空席となったチョロ東選挙区を除き、立候補者の死亡が補欠選挙の主な理由となっている。(8月19日MEC報道発表)

・ ムタリカ大統領、北部ムジンバに大学新設を約束

8月22日、ムタリカ大統領はマラウイ北部、ムズズ大学の卒業式の中で、北部ムジンバに新たに「モンベラ大学」を建設することを約束し、9月の国会で策定予定の今年度本予算にも同大学の設計費用を組み込むとした。北部地域は現在野党人民党(PP)が優勢で、一部PP地方議会議員は北部分離独立まで提案し、高等教育への不十分なアクセスも理由の一つとして掲げている。(8月24日、ネーションオンサンデー5面、25日デイリータイムズ3面他)

- ・ **大統領府、閣僚給与の上昇を要求**

大統領府からサムテ官房長官代行のサインが記されたメモがリークされ、大統領府が閣僚給与の600%増加を要求していたことが明らかになった。ンダラ大統領広報官によれば、ムタリカ大統領は本件メモを受け取ったが、政府の緊縮財政政策と合致しないため、給与上昇の提案を認めなかった。（8月16日、ネーション紙1, 2面, デイリータイムズ紙1, 3面）

- ・ **新官房長官の任命**

8月27日、ムタリカ大統領はムコンディワ外務国際協力次官を新官房長官に任命した。これを受け、官房長官が空席の間、官房長官代行を務めていたサムテ氏は元の官房副長官ポストへと戻った。外務国際協力次官の後任人事は未発表。（8月28日、ネーション紙3面, デイリータイムズ紙1面）

【外政】

- ・ **ムタリカ大統領の米・アフリカ・リーダーズ・サミット参加**

8月4～6日、ムタリカ大統領はオバマ米大統領の招待を受け、ワシントンDCで行われた米・アフリカ・リーダーズ・サミットに参加した。サミットにはチャポンダ外務国際協力大臣、ムナムヴェカ貿易産業大臣、ムルジ天然資源・エネルギー・鉱業大臣の他政府関係者25名、民間セクター、報道関係者等が複数同行した。ムタリカ大統領は帰国後の記者会見で、サミット全体を通して米国がアフリカで最も重要な資源である人間への投資を行う意思が感じられた旨述べ、米国とアフリカの関係強化における歴史的な機会となったとサミットを高く評価、経済面では米国のアフリカに対する投資増加による波及効果、アフリカ製品に対する米市場の解放、青年開発や教育等の分野への支援及び投資による効果に期待するとした。（8月4日、デイリータイムズ紙4面, 7日、デイリータイムズ紙9面, 8日、デイリータイムズ紙2面, 12日、マラウイ政府報道発表）

- ・ **タンザニアとの国境問題に関しムタリカ大統領が発言**

8月12日、ムタリカ大統領は米・アフリカ・リーダーズ・サミットに関する記者会見の場で、同サミットではクウェテ・タンザニア大統領とも友好的に話す機会があったとし、タンザニアとの湖を巡る国境問題については妥協の余地は無いが、問題解決は平和的に行う旨述べ、武力に訴えない立場を明確にした。（8月13日、デイリータイムズ1, 3面, 18日デイリータイムズ5面）

- ・ **ムタリカ大統領の第34回SADC首脳会合参加**

8月17～18日、ムタリカ大統領はジンバブエ・ビクトリア・フォールズで開催された第34回SADC首脳会合に参加し、議長国をジンバブエへと引き継いだ。ムタリカ大統領は開会式の演説にて、SADCは食料安全保障、平和構築において特に前進した旨述べた。（8月18日、サンデータイムズ3面, 20日ネーション紙4面他）

- ・ **ニュシ・モザンビーク与党フレリモ党大統領候補のマラウイ訪問**

8月22日、ニュシ・モザンビーク与党フレリモ党大統領候補はマラウイ北部ムズズを訪問し、ムズズ大統領官邸にてムタリカ大統領と会談を行った。ンダラ大統領広報官によれば、ニュシ候補はSADC諸国を訪問中であるが、大統領候補が選挙前に友好関係にある政党党首を表敬するのは慣例であり、民主進歩党(DPP)もフレリモ党と友好関係にある。(8月24日、ネーションオンサンデー紙3面)

- ・ **在マラウイ日本国大使館がリロングウェで和太鼓公演開催**

8月30日、在マラウイ日本国大使館及び国際交流基金の共催により、リロングウェで日本から来た公演団による和太鼓公演が開催され、約300名の観客が訪れた。公演の最後には今年が日マラウイ外交関係樹立50周年にあたることを記念し、マラウイ人バンドとの共演も行われた。西岡駐マラウイ日本国大使は、スピーチにて、日マラウイ外交関係樹立50年を祝し、和太鼓公演を開催できたことを非常にうれしく思う、このような文化交流を通じてさらに二国間の友好関係が深まることを願う等述べた。(9月4日、MBCテレビ他)

【経済】

- ・ **アフリカ開発銀行による支援**

7月31日、アフリカ開発銀行とマラウイ政府は、ナカラ回廊整備計画フェーズ4、保健及び生活改善のための持続可能な地方給水及び衛生インフラ事業、シレ川下流の水開発F/S事業等を含む1億400万米ドルの合意に署名した。さらにアフ開銀は、一般財政支援の再開へ向け政府と協議しており、2014/15年度予算に対しては1500万米ドルの拠出する予定としている(当館注:予算国会演説によれば、同アフ開銀からの一般財政支援は公共財政管理改革の進捗を見てという条件付きの拠出であり、拠出される確証がないため、今年度予算には計上されないとのこと)。また、8月5日、アフリカ開発銀行が支援する職業創出支援事業の一部として、政府により、新たに中小企業と大企業を繋ぐ機能を果たす中小企業金融機関である「ビジネス・リンケージ・マッチング基金」が設立された。(8月1日、ネーション紙1面及び12面、デイリータイムズ紙1面、6日、デイリータイムズ紙2面)

- ・ **葉タバコ取引状況**

今年の葉タバコ生産量は18.25万トンと見積もられ、昨年の売上げ総量16.86万トンを超過した。この過剰供給のため、平均取引価格が落ち込み、現時点での売上総額は3.52億米ドルと、昨年の3.61億米ドルよりもわずかに落ち込んでいる。(8月8日、ネーション紙9面)

- ・ **世界銀行による支援**

8月13日、世銀とマラウイ政府は、技術開発事業及び社会セーフティネット事業の融資合意（計約340億クワチャ）に署名した。（8月14日、ネーション紙1面及びデイリータイムズ紙1面）

- ・ **7月インフレ率**

統計局によれば、7月の前年同月比は6月の22.5%から22.3%へと低下した。また同局によれば、インフレ率低下の要因は非食料品価格の低下であるとのこと。（8月18日、ネーション紙9面）

- ・ **我が国による支援**

マラウイ政府は、日本政府による資金援助を受けて実施中の第2次中等学校改善計画は直ぐにも完了予定と明かした。同計画には、女子寮、実験室、図書室、管理事務棟、教室、厨房、多目的ホールの建設及び家具等の機材供与が含まれている。（8月19日、デイリータイムズ紙3面）

- ・ **ビィ・フォアード社への当地反応**

日本の中古車輸出業者であるビィ・フォアード社が当地にて事業を開始する可能性に対しての反応は様々である。同報道は、一般市民には温かく歓迎された一方、一部（同業事業者）からは、同社の当地進出は自分たちの事業を潰し、当地経済に悪影響を及ぼすとして批判が上がっている。（8月25日、ネーション氏紙13面）